



20

校長室だより（令和7年12月）



今年も残すところ半月を切りました。日本漢字能力検定協会が発表した「今年の漢字」には、「熊」が選ばれたとか。全国で野生の熊による被害が相次いだことが大きな理由でしたが、当該の地域にお住いの方々は、不安な日々を過ごしていることと思います。また、先日の青森県東方沖をはじめ、続いている大きな地震では、日常生活への影響も心配されます。心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く安心して生活できる日が来ますことを、お祈りいたします。

綾瀬西高校でも、すべての生徒・職員、そして共にいらっしゃるデイサービスセンターの皆さんのお安全を第一に、過ごしてまいります。

今年の映画

映画、特に映画館のスクリーンで観る映画が好きです。家でくつろぎながらの鑑賞も良いのですが、私にとって、そのためだけの空間に身を置くことの価値は、大きいようです。



今年観た映画を振り返ると、邦画にも恵まれた一年でしたが、メキシコの映画「型破りな教室」は、忘れない一本になりました。観た後すぐにもう一度映画館に足を運び、4月の始業式では話の一部をテーマにし、生徒たちに伝えたくらいです。
「井戸に落ちてしまったロバの話」、観えてくれていると嬉しいのですが・・・。
この映画については、9月の校長対象研修会で、講師の文部科学省視学官が「観るべき映画」として紹介していたことにも嬉しくなりました。「校長先生方、ご覧になりましたか？」の質問に、生徒のようにピンと手を挙げた私です。

2011年のメキシコの小学校を舞台に、実際にあった話をもとにしているこの映画。辞めた先生の代役として赴任した担任の先生は、その語りも授業も魅力的で、一瞬で引き込まれるのですが、様々な背景を持つクラスの子どもたちの姿や表情が、その厳しい生活とともに丁寧に描かれていることに胸を打たれます。子どもたちは先生とともに学びに向かっていきますが、決して

今思い出しても泣けてくるシーンがあります。担任の先生と話した後、将来なりたい職業について調べようと、初めて公立の図書館を訪ねた少女が、司書から一人の利用者として尊重され、的確な資料のアドバイスや素晴らしい対応をされた時に、カウンターで見せた表情です。司書の大変な仕事のひとつに「レファレンスサービス」という業務がありますが、この短いシーンには、プロフェッショナルとは何か、ということへの答えがありました。仕事をするとはこういうことだ、と、身の引き締まる思いです。



さて、終業式の前日は、全校挙げてのイベント・ウインターフェスティバルです。各クラスで短い動画を作成し、生徒は全作品を視聴。

良い作品に一票を投じます。今年はどんなショート映画が誕生するでしょう。楽しみにしています！

クリスマス会 in 綾西ディサービスセンター

先日は、ディサービスセンターでのクリスマス会に参加してまいりました。「綾瀬西高校アトラクション」と名付けられた、本校吹奏楽部・合唱部・ダンス部の生徒たちの出番をいただきました。



センター長さんの挨拶の後、顧問と指導の先生を交えた吹奏楽部による演奏です。ジブリメドレー、クリスマスメドレーの後、「マツケンサンバ2」で大盛り上がり。利用者の皆さんには頭に三角帽子を乗せ、鈴を鳴らしながら演奏に合わせてくださいましたが、何といっても職員の方々の盛り上げが素晴らしい、誰もが終始ニコニコでした。



記念撮影です。顧問のS先生、I先生はどこでしょう？

合唱部の生徒たちからは、昔から歌い継がれている名曲の数々の贈り物です。美しい歌声が胸に沁みます。



最後はダンス部の生徒と顧問・W 先生とが、息もぴったりに披露する庄巻のダンスパフォーマンス。撮影も忘れ、見入ってしまいました。もっとも、私の撮影の腕前ではとても写し切れないレベルの高さでしたか・・・。



後ろで見守る私たちの前の席で、利用者の男性2人が「綾瀬西高校の生徒さんたちだって。嬉しいね。すごいね。」とおしゃべっているのが聞こえきました。



いつも思うのは、大切な場面に生徒たちを招き入れてくださる、ディサービスセンター職員の皆さんと利用者の皆様の温かさです。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

さて生徒の皆さん、いよいよ冬休みです。学校をしばらく離れ、3学期に元気に戻ってきてくださいね。1月7日、学校で待っています。

また、お知らせしますね。

